

2005年2月下関市・豊浦郡4町合併 関門地域の新しい仲間たち

2005年2月13日に下関市と豊浦郡4町（菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町）は合併しました。ここでは、新しい下関地域の観光スポットや特産品などをご紹介します。

菊川町 豊かなみどりに囲まれた街

●道の駅きくがわ●

菊川町の中心繁華街の一角にあり、町外からの観光客の拠点施設になっているのが「道の駅きくがわ」です。観光バスも利用できる駐車場を備え、大きな庄屋風の建物の中には、菊川町の名物「菊川そうめん」や「アイガモ」などの特産品を使った料理を提供するレストランの他、売店では、作り立てのパンを販売するコーナーや菊川町や豊浦地区の特産品を集めたコーナー、観光ガイドなどをする案内所、トイレ、ATMなどがあり、町内外からの利用客が絶えません。



【道の駅きくがわ】
営業時間／8:30～21:00
休館日／年末・年始（12月31日～1月1日）
所在地／下関市菊川町大字上岡枝766番地の1
問い合わせ先／道の駅きくがわ（TEL 0832-87-4649）



●歌野千本桜●

歌野川ダム上流にある自然活用村の周囲には千本桜の花が舞い、初夏は源氏ホタルの名所として有名です。夏はキャンプ、秋はハイキング等、家族連れスポーツに最適です。

●手延べそうめん●

清い水と澄んだ空気の緑の町で造られたおいしい素麺。良質の小麦を使用し、丹念に手を掛け古くから伝わる手作り素麺。コシの強さが自慢です。



豊浦町

本州最西端の温泉の街



●瓦そば●

明治10年、西南の役において熊本城を囲む薩摩軍の兵士たちが、長い野戦の合い間に瓦を用いて野草、肉などを焼いて食べたことが始まりとされています。川棚の名物料理として有名です。



●北浦海岸線（長門ブルーライン）●

日本海の怒濤に浸食された海岸一帯は、雄大な奇岩・断崖の連続で、その景勝は、北浦の海上アルプスとして知られています。

●リフレッシュパーク豊浦●

花をメインとした公園で、「四季の園」「ワイルドフラワー園」「バラ園」「日本庭園」「遊びのゾーン」があり、恵まれた自然の中で小さな子どもからお年寄りまで1日中楽しめる公園です。

【リフレッシュパーク豊浦】
営業時間／8:30～17:00
入園料／大人・一般200円・団体160円／小人・一般100円・団体80円
交通機関／JR川棚温泉駅から徒歩30分
中国自動車道小月ICから車で30分・下関ICから車で40分
問い合わせ先／リフレッシュパーク豊浦・ビジターセンター（TEL 0837-72-4000）



豊田町

ホタル舞う水と緑の古里

●ホタル舟●

豊田町では昭和32年に「木屋川音信川ゲンジボタル発生地」で国指定天然記念物となったのをはじめ、川下りをしながらホタルを観賞できる「ホタル舟」を日本初の試みとして行っています。

【ホタル舟】
期間／6月16日～6月30日（気候・天気により期間が変更される場合あり）
場所／木屋川（中畑より殿敷大井堰）
乗船料／大人・1,500円（高校生以上）／子供・1,000円（5歳以上～中学生）
20名以上の団体は大人・子供とも200円割引
問い合わせ先／豊田のホタル祭り実行委員会 TEL:0837-66-0031（代）（平日8:30～17:15）
TEL:0837-66-1056（代）（土・日・祝日・平日の時間外）
※予約開始は5月1日から





●●豐田湖畔公園●●

豊田湖畔にある豊田湖畔公園はビジャ センタ を中心にオ トキャン
プ場、ケビン、野外ステ ジ、さえずり橋、せせらぎ川、体験農園、冒険
の城、ボ ト桟橋、炭焼小屋、椎茸小屋などを備えたリゾ トスクエアです。
問い合わせ先／豊田湖畔公園（電話0837 66 3488）

●豊田ホテルの里ミュージアム●

ホテルの里ミュージアムでは、年間を通して、ホテルの美しい光とその神秘的な生態、そして豊田町の豊かな自然を体感することができます。



【豊田ホテルの里ミュージアム】

開館時間／9:00～17:00

休館日／月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

年末年始(12月28日~1月4日)

入館料／大人 一般400円 団体300円／小人 一般200円 団体150円

所在地／下関市豊田町大字中村50番地3

交通機関／中国自動車道小月ICから車で20分・美祿ICから車で25分

JB新下関駅より車で45分／JB厚狹駅より車で35分

問い合わせ先／豊田ホテルの里ミュージアム(TEL 0837-67-0350)

豊北町

海と空が満喫できる街



●角島大橋●

山口県豊北町の西北約1.5kmの海上に浮かぶ角島は、日本海と響灘に面し、島の大部分が北長門海岸国定公園に指定されている自然がそのまま残っている美しい島です。平成12年(2000年)11月に角島大橋が開通し、本土と陸つづきとなり、県内外から多くの人が自然とのふれあいを求めてやってきています。

●土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム●

土井ヶ浜遺跡は弥生時代の埋葬跡で、国の指定史跡です。ここから保存良好な弥生人骨が300体以上も装身具や土器を伴って出土しました。土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムは、土井ヶ浜弥生人の顔・かたちの特徴、旧石器時代から現代に至る日本人の形質の変化や日本人のルーツについての情報を展示・発信しているわが国で唯一の人類学専門の博物館です。



【土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム】

開館時間／9:00～17:00

休館日／月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

入館料／大人 一般500円 団体400円

学生 一般300円 団体200円

所在地／下関市豊北町神田上

交通機関／JR二見駅から 肥中行きバス乗車後、土井ヶ浜下車。

JR蒲部駅から 二見駅行きバス乗車後、土井ヶ浜下車。

問い合わせ先／土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム(TEL 0837-88-1841)



●角島灯台公園●

角島大橋を渡り、県道を進むと白い灯台が見えてきます。明治9年に誕生した日本海側初の洋式灯台です。現在は無人灯台ですが旧吏員退息所を灯台記念館として整備し、当時を偲ばせています。

【角島灯台公園】

開館時間／9:00～15:00

灯台参観(記念館見学料含む)／大人 150円、子供 20円

所在地／下関市豊北町角島2343-2

交通機関／JR滝部駅から車で20分

問い合わせ先／角島灯台公園 (TEL 0837-86-2788)

